

東日本大震災「写真が伝えるもの、写真から伝わること」



沿岸の防風林を越えて押し寄せる大津波に、一気にのみ込まれる宮城県石巻市の北釜地区
=2011年3月11日午後3時55分、毎日新聞社入りから手塚耕一郎撮影



大津波に押し流され、火災が発生した宮城県石巻市の関上地区
=2011年3月11日午後4時8分、毎日新聞社入りから手塚耕一郎撮影

講師：手塚 耕一郎さん

日時：平成23年12月21日（水）
15時30分～17時

場所：理学部多目的ホール

主催：理学部



・この特別講演会は、理学部で開講されている『科学コミュニケーション』の一環として開催されます。

プロフィール：手塚耕一郎さんは、平成15年に本学 大学院理工学研究科 修士課程 地球科学専攻を修了され、毎日新聞社に入社されました。入社後、仙台支局などを経て、現在は東京本社編集編成局写真部に所属されています。3.11の大地震の際に発生した大津波襲来の瞬間をとらえたスクープ写真は、高く評価され、本年度の新聞協会賞を受賞されました。

・東日本大震災の被害状況のほか、報道カメラマンという職業についてもお話し頂く予定です。理学部以外の方も是非ご参加下さい。

問い合わせ先：島田 互（内線6645）